

教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価報告書  
(令和4年度対象)

令和5年11月  
棚倉町教育委員会

## I はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会自らが点検及び評価を行い、その評価にあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされていることから、棚倉町教育委員会の権限に属する事務の管理執行の状況について点検評価を行った結果を取りまとめたものです。

教育委員会は、町長から独立した立場で教育行政における学校教育や社会教育など、広範かつ専門的な教育行政事務を管理及び執行するために設置された合議制の機関（行政委員会）です。

そのため、棚倉町教育委員会では、この点検結果や評価及び学識経験者からの意見をもとに、計画的かつ効率的な教育行政を推進してまいります。

### 【参 考】

#### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 点検及び評価の実施方法

棚倉町振興計画及び教育大綱において、4つの施策・16の主要施策を掲げています。点検及び評価にあたっては、事業の実績を基に進捗状況を担当課が評価し、改善が必要な場合はその方策を示します。そして、学識経験者のご意見をいただき、総合的な評価を行います。

### ●学識経験者

（順不同・敬称略）

氏 名	住 所
高田 昇	棚倉町大字棚倉字宮下109番地
藤田千恵子	棚倉町大字花園字鹿子山98番地1
石川 幸絵	棚倉町大字棚倉字城跡81番地

IV 棚倉町教育委員会施策評価一覧

施 策 名			施策評価
1 学校教育の充実			A
主要施策名	評価	記 載 ページ	担 当 課
① キャリア発達の支援	A	6	子ども教育課
② 夢の実現を図る学力の向上	B	7	子ども教育課
③ 人間性豊かな心と健康な体の育成	B	8	子ども教育課
④ 特色ある学校づくりの推進	A	9	子ども教育課
⑤ 教育環境の充実	A	10	子ども教育課

施 策 名			施策評価
2 子育て環境の充実			A
主要施策名	評価	記 載 ページ	担 当 課
① 幼稚園教育の充実	A	11	子ども教育課
② 保育環境の充実	A	12	子ども教育課
③ 子育て支援の充実	B	13	子ども教育課

V 点検・評価表

令和5年度点検・評価表（令和4年度事業実施状況）

施策名	学校教育の充実		担当課	担当課 評価
主要施策名	キャリア発達の支援		子ども教育課	A
事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよく生きようとする子どもと一人一人の基礎的汎用的能力の育成を目指し、キャリア教育推進事業を展開する。</li> <li>・一人ひとりの基礎的汎用的能力の育成を目指した各学校の「キャリア教育推進プラン」を支援する。</li> <li>・町内の各組織の支援体制を確立し、幼小中のキャリア発達の連携を一体化する。</li> </ul>			
令和4年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育シンポジウムの開催 8月3日（木）棚倉町文化センター</li> <li>・小学6年交流学习の開催 11月17日（木）・18日（金）ルネサンス棚倉、棚倉町文化センター</li> </ul>			
成果実績	項目(単位)	R 2	R 3	R 4
	シンポジウム参加者数(人)	142	111	115
	アンケート肯定意見(%)	100	100	100
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育シンポジウムについては、新型コロナウイルスの感染防止対策により、参加者は令和3年度とほぼ同等で、令和4年度は幼稚園と小学校の実践発表と意見交換を実施したことで幼小連携の理解が深まり、アンケートの肯定意見100%につながったと考えられる。</li> <li>・小学6年生の交流学习は、新型コロナウイルス感染拡大防止により宿泊は取りやめたが、目的である交流や中学校生活への心の準備が達成できた。</li> </ul>			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染防止対策を十分に講じながら、町内の保・幼・小・中・高のつながりのある実践を共有・意見交換する場とし、課題について助言を頂きながらキャリア教育を推進する。</li> <li>・ICT機器を活用したオンラインでの開催により、棚倉町以外の参加者を募り、町外へ発信する。</li> <li>・キャリア教育としての小学6年生交流学习の在り方を更に検討し、宿泊にこだわらず子どもたち自発的・自治的に取り組むことができるように事業内容の充実を図りたい。</li> </ul>			

令和5年度点検・評価表（令和4年度事業実施状況）

施策名	学校教育の充実		担当課	担当課 評価
主要施策名	人間性豊かな心と健康な体の育成		子ども教育課	B
事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人が人につながり、社会をつくっていく子ども」の育成を目指し、生徒指導推進事業を展開する。</li> <li>・日常的な運動や体育を充実し、スポーツテストの結果を活用しながら健康な体をつくっていく。</li> <li>・学校給食において地産地消を進め、正しい食生活を養うための食育の充実を図る。</li> </ul>			
令和4年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの積極的な認知に努め、いじめを許さない学校づくりを推進した。</li> <li>・町内全小中学校において、体力・運動能力調査を実施し、その結果に基づき、運動身体作りプログラムの実施を推進した。</li> <li>・地産地消推進のため、米をはじめ、地元食材を優先して使用した給食を提供している。小学6年生を対象としたテーブルマナーのほか、各校の食育計画や実態に応じた食育指導を実施した。</li> </ul>			
成果実績	項目(単位)	R 2	R 3	R 4
	いじめの認知件数(件)	30	83	88
	学校給食における 地元食材の割合(%)	42.6	39.3	40.3
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの認知件数は前年度より増加しているが、各校で児童・生徒へのアンケート調査等により積極的に認知してその解決に努め、約78%が解消し、約20%が改善傾向の状況で、約2%が未解決である。</li> <li>・授業での運動身体づくりプログラムの実施や体力・運動能力調査の結果分析による各校の体育科全体計画の見直しなど、体力の向上に努めている。</li> <li>・米は100%棚倉産米、季節の地元野菜を利用している。また、県産食材活用推進補助事業を継続して活用している。</li> </ul>			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も「いじめは、いつでもどこでも起こり得る」という認識で早期発見・早期対応を推進し、各校から報告された改善傾向・未改善の案件については、丁寧に対応するよう指導していく。</li> <li>・授業での運動身体づくりプログラムの完全実施を図る。</li> <li>・引き続き品質、規格、価格等を考慮し、大量調理に適した地元食材の活用と、魅力ある充実した給食の提供を図る。</li> </ul>			

令和5年度点検・評価表（令和4年度事業実施状況）

施策名	学校教育の充実	担当課	担当課 評価
主要施策名	教育環境の充実	子ども教育課	A
事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い教育を推進するため、教材・教具の充実を図る。</li> <li>・各小学校の今後の児童数の推移を把握し、学校規模の適正化と新たな教育システムについて検討する。</li> <li>・地域の実情に応じたスクールバス等による通学手段の支援に努める。</li> </ul>		
令和4年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小中学校の必要備品の要望をとりまとめ、補助事業等を活用しながら教材・教具の充実を図った。</li> <li>・小中学校の特別教室及び体育館にICT環境を整備した。</li> <li>・高野小学校の児童数減少に伴い、保護者及び地区住民らと今後のあり方について検討した。</li> <li>・スクールバス1台を更新し、児童・生徒の通学支援を行なった。</li> </ul>		
成果実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の特別教室及び体育館に無線LANを整備し、授業や行事でのICT機器の活用が可能となった。</li> <li>・高野地区は令和6年度から棚倉小学校へ学区を変更し、高野小学校は少人数で学びたい児童のための学校とする。</li> <li>・耐用年数を過ぎたスクールバスを更新し安全・安心な通学支援を行なった。</li> </ul>		
評価の内容	<p>教材教具やICT環境について、学校の要望を聞き該当する補助金を活用しながら整備できた。</p> <p>学校規模の適正化については、学びのあり方検討委員会の提言をもとに、高野小学校の在り方について関係者意見交換ができた。</p> <p>通学支援について、スクールバスの更新さらには、学校行事等の活用にも利用を図ることができた。</p>		
改善の方策等	<p>質の高い教育を推進するため、引き続き学校の要望を聞きながら必要な教材教具の充実を図るとともに、今後は児童数の減少が進むため、学びのあり方検討委員会の提言を基に小中学校の統廃合について検討していく。さらには、スクールバスの利用対象外の地区についても、児童数や配車数等を見極め検討が必要。</p>		

令和5年度点検・評価表（令和4年度事業実施状況）

施策名	子育て環境の充実			担当課	担当課 評価
主要施策名	保育環境の充実			子ども教育課	A
事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「待機児童ゼロ」を継続する。</li> <li>・棚倉町子ども子育て支援事業計画に基づいた支援と、多様化する保育ニーズを的確に捉え、保育サービスの提供と質の向上に努める。</li> </ul>				
令和4年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育事業の実施</li> <li>・利用者負担金の軽減</li> <li>・物価高騰対策支援事業や保育補助者雇上強化事業、保育環境改善等事業の実施</li> </ul>				
成果実績	項目(単位)	R 2	R 3	R 4	
	延長保育 利用者数(人)	1 5 8	1 1 1	9 0	
	待機児童数 (3月末現在申込件数)	0	0	0	
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚倉保育園との連携により、待機児童ゼロを継続した。</li> <li>・多様化する利用者ニーズに対応するため、保育園と連携して午後6時から6時35分までの35分間延長保育を実施し、就労世帯の子育て支援を図った。</li> <li>・利用者負担金は国に準じて軽減措置をしているが、町独自に第2子以降の利用者負担金を1/3（国は1/2）とし、利用者負担の軽減を図った。</li> <li>・原油価格・物価高騰の影響による児童福祉施設等の負担軽減を図るため、物価高騰対策支援事業の助成を行った。</li> <li>・保育園の負担軽減を図るため、保育補助者雇上強化事業や保育環境改善等事業の助成を行った。</li> </ul>				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚倉保育園の運営状況を常に把握し、安定した運営が継続的にできるよう引き続き助言・指導を行う。</li> <li>・幼児の低年齢化を見込み、保育士の確保に努める。</li> <li>・子ども子育て支援事業に基づき、利用者ニーズを的確に捉え、園との連携を図りながら、保育環境の整備等を図っていく。</li> </ul>				

令和5年度点検・評価表（令和4年度事業実施状況）

施策名	生涯学習の充実		担当課	担当課 評価
主要施策名	生涯学習内容の充実		生涯学習課	B
事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習の楽しさを広めるため、事業内容の情報提供の充実を図る。</li> <li>生涯学習活動を支援するため、社会教育指導員による相談や指導助言の充実を図る。</li> <li>生涯学習活動を通じて、学ぶ意欲、学ぶ楽しさを身につけることにより生活満足度のさらなる向上を図る。</li> </ul>			
令和4年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>町広報を利用した生涯学習情報の提供</li> <li>社会教育指導員による各種講座の開催</li> <li>生涯学習人材バンクを設置し、自らの経験、知識及び特技などを学校や地域活動等に生かしてみたいという人材を登録し、その情報を提供し、生涯学習を支援した。</li> </ul>			
成果実績	項目(単位)	R 2	R 3	R 4
	修道館大衆参加者(人)	135 (延べ749)	92 (延べ722)	81 (延べ599)
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習情報については、各種講座の募集等について町広報誌を利用して周知を行った。</li> <li>社会教育指導員1名を配置して、各種講座への指導助言を行った。</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、演歌講座、俳句講座、教養講座、健康麻雀講座を実施した。</li> <li>生涯学習人材バンクへの令和4年度の登録者数は、27団体と個人登録が21名で、二十歳のつどい、講座講師等に利用した。</li> </ul>			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習の推進を図っていくために、各種講座の様子や内容について、オンライン配信を検討する等、工夫していく。</li> <li>今後とも自主的な活動へ誘導する方策を検討していく。</li> <li>広報（HP）等を利用した人材の募集を図る。</li> </ul>			



令和5年度点検・評価表（令和4年度事業実施状況）

施策名	生涯学習の充実		担当課	担当課 評価
主要施策名	青少年・子どもの健全育成		生涯学習課	B
事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の教育力を高め、家庭や地域、学校と協力しながら青少年を育成できるよう、関係機関や地域の指導者等と連携した取り組みを進める。</li> <li>町内事業所等と連携した社会体験活動を通じて、子どもたちの健全育成に努める。</li> </ul>			
令和4年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレキッズの開催</li> <li>青少年の主張発表会の開催（オンライン配信実施）</li> <li>二十歳のつどいの開催（オンライン配信実施）</li> </ul>			
成果実績	項目(単位)	R 2	R 3	R 4
	チャレキッズ参加児童数(人)	中止	延べ411	延べ357
	二十歳のつどい参加者数		145	102
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年の主張発表会は新型コロナウイルス感染予防により会場での聴講とオンライン配信を併用して開催した。</li> <li>青少年の主張発表会は、青少年が日頃考えている様々な事柄についての発表の場を与え、望ましい成人として成長する一助となっている。</li> <li>二十歳のつどい実行委員会を組織し、式典への積極的な参加を図ることができた。</li> <li>二十歳のつどいについては、会場に出席できない成人者、関係者等のために式典の様子をオンライン配信した。</li> </ul>			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「チャレキッズ」については、小学校5・6年生を対象としており、それぞれの発達段階に合った内容になるよう、内容の充実を図っていく。</li> <li>青少年の主張については、より多くの方に聴講してもらえるよう周知方法を工夫していく。</li> <li>二十歳のつどい実行委員の意見を反映し、より良い式典になるよう努めていく。</li> <li>二十歳のつどいについては、会場内に写真撮影用ブースを設けるなど、記念になるような式典を目指していく。</li> </ul>			

令和5年度点検・評価表（令和4年度事業実施状況）

施策名	文化芸術活動の振興			担当課	担当課 評価
主要施策名	郷土文化の保存と継承			生涯学習課	B
事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な歴史遺産や文化遺産の確実な伝承と継承を行うとともに、適正な保護に努める。</li> <li>・郷土芸能の保存会において、後継者の育成と支援を行う。</li> </ul>				
令和4年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中世城館跡調査指導委員会の開催、赤館跡の地形測量図作成、発掘調査の実施</li> <li>・棚倉城跡整備基本画策定委員会の開催</li> <li>・民俗芸能保存団体への活動費助成</li> </ul>				
成果実績	項目(単位)	R 2	R 3	R 4	
	指定文化財件数(件)	3 6	3 6	3 6	
	民俗芸能保存団体数(件)	2	2	2	
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中世城館跡調査指導委員会を開催し、町内に遺る中世城館跡の調査成果について議論した。</li> <li>・赤館跡の地形測量図を作成し、発掘調査を実施した。</li> <li>・棚倉城跡整備基本計画策定委員会を開催し、計画内容について議論した。</li> <li>・郷土芸能の保存団体については、保存団体が後継者の育成に努めており、郷土芸能の保存が図られている。</li> </ul>				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内に遺る中世城館跡については、史料調査、縄張り図の作成等の調査成果に基づき、赤館跡と寺山館跡の国史跡指定を目指した調査を実施する。</li> <li>・棚倉城跡保存活用計画に基づき、令和5年度には棚倉城跡の石垣整備を実施する。</li> <li>・郷土芸能の保存については、後継者の育成は重要な課題の一つであり、常に各団体の状況把握に努め、保存を図っていく。</li> </ul>				

令和5年度点検・評価表（令和4年度事業実施状況）

施策名	文化芸術活動の振興			担当課	担当課 評価
主要施策名	文化活動の推進			生涯学習課	B
事業の目的 と概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化団体活動の場として、住民ニーズに沿った設備等の充実と、誰もが文化に親しめる環境づくりを図る。</li> </ul>				
令和4年度 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各文化団体の活動の場として定期的な利用</li> <li>各種団体等が発表の場として利用</li> <li>企業の社員研修や講演会等の開催の場所として利用</li> <li>販売店等の展示即売会等の会場としての利用</li> </ul>				
成果実績	項目(単位)	R 2	R 3	R 4	
	文化センター 利用者数(人)	6,663	13,866	12,047	
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体や企業への貸館や自主事業に取り組んだ。</li> <li>自主事業については町外からも広く集客を図り、音楽、古典、劇団公演等多彩な事業を展開した。</li> <li>各種団体の文化活動についても、活発に展開された。</li> </ul>				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の設備については計画的に改修する。</li> <li>貸館施設としてPRを引き続き行う。</li> </ul>				

## VI 学識経験者の意見

施 策	1 学校教育の充実
<p><b>【高田委員】</b></p> <p>棚倉町の学校教育として、教育委員会・教職員の鋭意努力によりとても充実していると感じております。</p> <p>ただし、昨今の国や県全体に状況からすると、人材不足から来る教師不足に対応すべく、残業縮小のための仕組み作りや、保護者と教師の立場を考えることも必要と感じる気がします。</p> <p><b>【藤田委員】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・キャリア発達の支援 成果実績アンケート肯定意見は三期連続の100%達成だがアンケート内容に課題はないのだろうか。アンケート内容を検証することでより良い活動ができるのではないだろうか。</li><li>・夢の実現を図る学力の向上 成果実績率は高いが、評価の内容となるサイエンス教室の中止や全国学力・学習状況調査結果の結果を今後活かしてほしい。</li><li>・人間性豊かな心と健康な体の育成 いじめ対策を継続して、安心して楽しい学校づくりに努めてほしい。 地産地消の豊かな食育で、郷土愛を育ててほしい。テーブルマナーは洋食だろうか？基本的な和食のテーブルマナー学習もあってよいのではないだろうか。</li><li>・特色ある学校づくりの推進 今後もより保護者や地域住民が参画できる運営に努めてほしい。</li><li>・教育環境の充実 安全で楽しい居場所づくりに努めてほしい。</li></ul> <p><b>【石川委員】</b></p> <p>コロナ禍が続く中、計画通りに事業を進めることは、非常にご苦労されたことと思います。新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながらのキャリア教育シンポジウムの開催、小学6年生交流学習の開催、ICT環境の整備、通学支援等、時代に即した事業が進められたのではないのでしょうか。</p> <p>しかしながら、中止となった福島大学との連携による「小学校サイエンス教室」は理科に興味をもつ良い機会となると思いますので、是非実現していただきたいと思えます。</p> <p>子ども達の無限の可能性をつぶさぬよう、ハード面、ソフト面での支援を引き続きお願いいたします。また、児童生徒数減少が進む棚倉町においては、学校、家庭、地域のより一層の連携が必要であると改めて感じました。</p>	

## 施策

## 3 生涯学習の充実

### 【高田委員】

鋭意努力していただいていると感じております。

コロナ禍も落ち着いて来たと思われまますので、さらに活動しやすい時期となると感じております今後にも期待しております。

### 【藤田委員】

#### ・生涯学習内容の充実

高齢者が生き生きと参加し、健康寿命を延ばす一助であり続けてほしい。

#### ・生涯学習拠点の充実

町立図書館以外の施設利用をすることで、より多くの町民が参加できる事業内容を計画できるのではないだろうか。

#### ・青少年・子どもの健全育成

「チャレキッズ」は、地域企業が子ども達と交流する数少ない機会なので、より充実した内容となるよう目的や受け入れ体制の見直しをしてはどうだろうか。

二十歳のつどいのフォトブース設置は、参加者の要望にマッチしていると思う。参加者の意見を取り入れて、喜ばれるブースとなるよう希望する。

#### ・生涯スポーツの推進

今後もより多くの町民が参加できる活動を希望する。

### 【石川委員】

生涯学習の内容、拠点の充実については、修道館大衆参加数、図書館利用者数がコロナの影響があるとは思いますが、減少傾向にあることは残念なことです。しかし、町民が興味を持ちそうな各種講座が開かれており、図書貸し出し数も増加していることは、評価されるべきであると思います。町民がいつでも自由に充実した学びの機会を与えられるということは有り難いことだと思います。

生涯学習の手段としては、TPOに関係なく行えるのが読書なのではないでしょうか。私も含め、読書習慣を身につけていけたらと思います。

青少年・子どもの健全育成については、オンライン配信を併用し開催されたことは多くの人にみていただく機会が増え、良かったと思いますし、ふるさと愛を育む良い機会となったと思います。

生涯スポーツの推進についても、コロナ禍にもかかわらず、総合体育館利用者数、スポーツクラブ事業参加人数いずれも増加しており、町民の生活に生涯スポーツが根付き健康の増進に繋がったと思います。